



■ 宍粟市地名の由来

奈良時代に編纂された『播磨国風土記』によると、孝徳天皇の時代、大化の改新によって国郡制が施行され、比地の里、高家の里、柏野の里、安師の里、石作の里、雲箇の里及び、御方の里の7つの里からなる「宍粟の郡」が建郡されました。

伊和大神が、国作りを終えて巡行されているときに、舌を出している大きな鹿(しし)に出会ったという逸話から、鹿(しし)にあらう、「宍粟の郡」の名の由来となったと記されています。また、宍は肉、禾(粟)は穀物を表す字であることから、狩猟と農耕が盛んであった地域にちなんで名付けられたと言われています。

この伝統と歴史ある「宍粟市」の地名に誇りを持ち、先人が残してくれた尊い歴史や文化、そして豊かな自然をまちづくりに活かし、次世代へ継承していきましょう。



■ 市のシンボル

市花・ささゆり

本州中部地方以西から四国・九州に分布するユリ科の球根植物で、葉は披針形でササの葉に似ていることから、この名が付けられています。

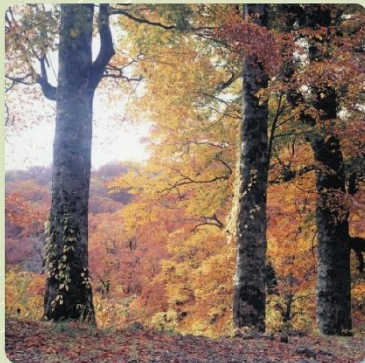
6月～7月に優美・清楚・可憐な淡紅色や白色の花を咲かせ、花言葉のとおり「上品」な香りがあります。



市木・ブナ

北海道西部から本州・四国・九州に分布する落葉広葉樹で、その雄大で美しい姿から「森の女王」と言われています。

5月に淡黄色の小さな花が咲き、10月～11月には栗色で三角すいの形をした硬い実が熟します。渋みがなく脂肪分も豊富で美味であり、食用にすることもできます。



マスコットキャラクター

しーたん

性別：女の子

住所：しそうの豊かな森林(もり)

生年月日：平成20年10月1日

～みんなのお友達～

